

003 はじめに

Chapter 1

きっかけ (自分が患者の歯をダメにしている)

- 010 01 | 一般的な歯科医師としてスタート (開業)
順風満帆なスタート
- 010 02 | 自分が治療した患者の歯がダメになり、再来院
ショックを受ける
- 011 03 | 再勉強
結果は変わらなかった
嫌気性培養検査の導入
嫌気性培養検査法
高周波治療の導入
根管治療を諦める
抜髄の弊害
- 017 04 | 食事療法のスタート
もともと、食事に関する研究をしていた
食事とカリエスの関係を突き止める
カリエスが発症しない症例
参考例:若年層患者の突然死の経験

Chapter 2

ドックベストセメント (Doc's Best Cements) との出会い

- 023 01 | 運命的な出会い
小峰メソッド
- 024 02 | ドックベスト療法の基礎知識
銅ペースト (ドックベストセメントの前世)
銅に対する誤解
ドックベストセメントの誕生
ドックベスト療法の安全性
- 028 03 | ドックベスト療法のメカニズム
- 029 04 | ドックベスト療法の実際
- 035 05 | ドックベスト療法の応用
簡単症例
露髄 (慢性歯髄炎) 症例

- 038 06 | カリエス治療への応用
- 049 07 | 歯内療法への応用
ドックベストセメントの根管治療への応用
ドックベストセメントを用いた根管充填法
根管充填法の術式
参考症例:ドックベストセメント充填法
- 058 08 | その他の応用
ドックベストセメントの特殊応用(最新情報)
知覚過敏処置
パーフォレーションへの応用
高齢者および障害患者への処置
高齢者および障害患者への予防処置
ドックベストセメントの適応症
- 063 09 | 削らないブリッジ
使用材料
グラスファイバーの紹介
施術方法
参考症例
- 066 10 | 最新のドックベスト療法
- 068 11 | ドックベスト療法のQ&A

Chapter 3

新しい予防歯科プログラムのスタート

- 073 01 | カリエス発症のメカニズム
参考症例
グルコーススパイク
カリエスと血管年齢
- 079 02 | Dentinal Fluid Transport理論
- 081 03 | 食事療法(カリエス)
Price博士の理論
- 084 04 | 食事療法(ペリオ)
歯周病患者の食生活の特徴
唾液分泌量と歯周病の関係
体温と歯周ポケットの関係
食事指導法

Chapter 4

全身歯科

- 099 01 | 歯科疾患と全身疾患の関係
- 100 02 | 菌性病巣感染
- 100 03 | ボーンキャビテーション（ボーンキャビティ）
- 101 04 | 歯と臓器の関係

Chapter 5

医科歯科連携

- 105 01 | 生活習慣病における歯科の重要性
- 105 02 | 各疾患のメカニズム（海外における理論）
 - 脳心血管疾患
 - 糖尿病
 - がん
 - 関節リウマチ
 - 自己免疫疾患
 - うつ病

Chapter 6

歯科における再生医療の未来

- 117 01 | 再生医療の基礎
- 117 02 | 幹細胞
- 118 03 | 歯髄の防衛機能
- 118 04 | 歯髄再生
 - Streak Laser
 - 参考症例
 - Tertiary Dentin（第三象牙質）
 - 独自の考え方（Scaffoldの利用）
 - 術式
- 125 05 | 歯科における再生医療の可能性

Chapter 7

Streak Laserの特徴とその応用

- 129 01 | Streak Laserとは
 - Nd:YAGレーザーの特性
 - その他のレーザーの特性
- 131 02 | レーザーの治療効果
- 131 03 | STREAK-1の特徴
 - パルス幅による違い
- 135 04 | 独自の冷却機構およびルチル型酸化チタン懸濁液による治療
- 136 05 | プラズマレーザーシステムとは（国際特許取得）
 - たんぱく分解型除菌水:POIC Water
 - 残留塩素濃度補正消毒システム:エコシステム
 - ポリリン酸配合ジェル:オーラループ4プラス
 - プラズマレーザーシステムの優位性
- 139 06 | STREAK-1の臨床応用
 - STREAK-1の歯科治療時における除痛効果
 - 歯周病処置への応用
 - 削らない治療への応用
 - カリエス処置への応用
 - 歯髄処置への応用

Chapter 8

未来の歯科医療（歯科医師の真の職務）

- 149 01 | 歯科とは？
 - 口腔は消化器官の一部
- 149 02 | 食事の専門家
- 150 03 | 日本の食生活の間違い
 - 食品添加物
 - 砂糖の全食品使用
 - 朝食の重要性の間違い
 - 離乳食の間違い

- 156 あとがき
- 157 参考文献